

平成30年度日本小児外科学会
第2回臨時理事会議事録

日 時：平成30年10月9日（火） 17：00～19：00
会 場：京都府立医科大学小児外科教授室、または自施設から WebEx で参加
出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、八木 實（理事・会長）、
山高篤行（理事・副会長）、奥山宏臣、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、
野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、
黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、
橋詰直樹（庶務委員補佐）、米田光宏（施設認定委員会委員長）、
古村 眞（専門医制度庶務委員長）、仁田尾慶太（事務局）
欠席者：渡井 有（財務会計委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、
浦尾正彦（財務会計補佐）、小野 滋（専門医認定委員会委員長）、

議事案件：

議 事：

1. 第2回臨時理事会の議事録署名人は、奥山宏臣理事、金森豊理事とした。
2. 審議事項
 - 1) 専門医制度諸規則について（米田施設認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員長）
米田施設認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員長より配布資料に基づき、事前に役員に回覧していた専門医制度諸規則の改定案について再度確認が行われ、一部修正を行い承認された。修正を行った諸規則を理事会MLに流した上で臨時評議員会資料の準備をすることとした。以下、修正内容。
 - ・現行規則の機構認定という言葉削除する。
 - ・専門医制度規則、専門医制度施行細則、専門医制度付則、専門医、認定登録医および指導医資格の更新規定、認定資格の申請期限に関する規定の改正日は一般社団法人成立予定日の2019年4月1日とする。
 - ・「専門研修カリキュラム統括責任者（指導医）をおいている」を「小児外科指導医資格を有する専門研修カリキュラム統括責任者をおいている」に変更。
 - ・制度上で教育関連施設AとBの差別化が出来ていない為、これについては運用の手引きに教育関連施設AとBについての説明書きを加える等、まずは施設認定委員会で検討した上で、理事会で審議することとした。
 - ・初期研修の手術経験を算定できることについては今までもそうであったが、新たに専門医制度付則に盛り込むことはせずに、今まで通りに手引きに記載する形とする。
 - ・専門医制度委員会という言葉定義する。
 - ・カリキュラム概要について、初期臨床研修中に経験した手術症例は算定できない。の箇所を削除し、新制度の「3年以上のカリキュラム研修歴」を「3年以上の研修歴、カリキュラム全過程終了」に修正、申請の時点で、引き続いて3年以上本学会会員であるこ

とという項目を加える。

2) その他

(1) ヒルシユスプリング病類縁疾患診療ガイドラインの HP 掲載について (金森ガイドライン委員会担当理事)

金森ガイドライン委員会担当理事より配布資料に基づき、鹿児島大学の武藤先生から難治性疾患等政策研究事業「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立のに関する研究」ヒルシユスプリング病類縁疾患グループで作成された「ヒルシユスプリング病類縁疾患診療ガイドライン」について、HP 掲載依頼があり、委員会で審議の結果、承認されたと報告があり、承認された。

(2) 複数領域にまたがる新規研究課題の公募に関して (山高データベース委員会担当理事)

山高データベース委員会担当理事より配布資料に基づき、HP にて募集を行っていた複数領域にまたがる新規研究課題の公募に関して 1 件の応募があったと報告された。委員会で申請内容を確認し、申請者に照会・回答を得られた上で、理事会で審議をすることとした。

3) 次回定例理事会日程の確認 (越永理事長)

次回理事会は平成30年10月24日 (水) 10:00~14:00 大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター 4F シミュレーションセンター学習ラボにて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____